

## 【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

|          |                                       |              |       |            |                          |
|----------|---------------------------------------|--------------|-------|------------|--------------------------|
| 事業所名称    | アグリファームしっぽの里                          |              | 代表者指名 | 代表取締役 岩崎幸彦 |                          |
| 事業所所在地   | 浜松市浜北区豊保309-2                         |              |       |            |                          |
| 連絡先      | 電話番号                                  | 053-588-3730 |       | FAX番号      | 053-571-5742             |
| 職員数      | 8                                     | 定員           | 20    | 利用者数       | 12 (うち身体 知的 9 精神 3 その他 ) |
| 事業所の設置主体 | 社会福祉法人 ・ <u>民間企業</u> ・ NPO法人 ・ その他    |              |       | 設立年月日      | 平成23年8月10日               |
| 改善計画期間   | 令和 4年 8月 1日 ~ 令和 5年 7月 31日 (1年間とすること) |              |       |            |                          |

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策  
(詳細かつ具体的に記載すること)

|   |  |
|---|--|
| (未達成理由)   | (具体的改善策)   |
| 1. 引き続き、新型コロナウイルスの影響で市場単価が低迷した。<br>2. 中国のゼロコロナ政策で資材の輸入遅れとロシアによるウクライナ侵攻での情勢不安での値上げによる経費増<br>3. 農業資材生産も協力業者との2回目以降の会合がコロナの開けていない。 | 1. 収益性の低い青梗菜からキュウリへの転換を進める。<br>2. 高単価なパクチー栽培を周年で安定させる。<br>3. 農業資材生産の会合を再開し、協力体制の構築を築く。<br>4. 他業種との連携(農福連携等)を積極的に進める。 |

## 2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 現在の事業内容                         | 計画期間を通じて実施する事業内容  |
| 野菜作農業<br>青梗菜・パクチー・空心菜・キュウリの生産販売 | 野菜作農業事業：キュウリ・パクチー・青梗菜<br>農業資材生産：VSモミガラ堆肥製品化<br>他業種との連携事業：営農型太陽光発電での観光農園 |

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

## 3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

|   |   |
|---|---|
| 現在の収入額  | 計画期間を通じて達成すべき目標収入額                              |
| 16,427,227円   | 22,100,000円                                     |
| (主な費目)<br>JA 11,192,622円 (68.1%)<br>卸会社他 5,534,605円 (31.9%) | (積算根拠)<br>JA 11,300,000円<br>卸会社・その他 10,800,000円 |

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

## 4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

|  |   |
|--|---|
| 現在の経費  | 計画期間を通じて見込まれる経費   |
| 10,116,693円  | 7,858,194円  |
| (主な費目)<br>JA出荷手数料(JAとびあ・静岡経済連・市場)・運賃<br>JA等資材購入費(種・苗・肥料・農薬・梱包資材等)<br>賃料・ハウス農機具等借入返済・電気水道等・現価償却 | (積算根拠)<br>JA他経費 $11,300,000 \times 38.5\% = 4,350,500$<br>賃借料 903,000<br>減価償却 2,604,694 |

## 5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

|            |               |
|------------|---------------|
| 現在の「収入－経費」 | 計画期間後の「収入－経費」 |
| 6,310,534円 | 14,241,806円   |

## 6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

|   |  |
|---|--|
| 現在の支払い総賃金額  | 計画期間後の支払い総賃金額  |
| 14,110,039円   | 15,312,000円  |
| (積算根拠)<br>各利用者の時間額×就労時間×出勤日数<br>※労基署から減額特例許可者は1人1人減額率が違う。 | (積算根拠) 一人当たり月平均87,000円<br>8月 13人 9-10月 12人 11-12月 13人 1-3月 15人<br>4-7月 17人 延べ人数 176人<br>$87,000 \times 176 = 15,312,000$ 円 |

事業所代表者署名欄 代表取締役 岩崎幸彦 印

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。  
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。